

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 千葉県 】

1 実践テーマ	【 I・III・V 】
2 実施対象者	学校名 千葉市立千城台西中学校 対象学年 3学年女子 クラス（人数）：1、2、3組（47人）
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 体育科・ <u>保健体育科</u> ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 （ねらい）	モデル校での実践等を通して、体育・保健体育の学習を充実させ、子供たちが、よりスポーツを好きになり、生涯にわたって運動に親しむ資質を育むこと、健康の保持増進のための実戦力の育成と体力の向上を図ることを目的とする。
5 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生の女子体育でシットイングバレーボールを3時間実施した。 ・1時間目は、オリエンテーションで、シットイングバレーボールのルールや技能についての説明、ソフトバレーボールでの2人組練習などを行った。 ・2・3時間目は、ゲームを取り入れて、ラリーが続くようにルールも工夫して行った。
6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ・シットイングバレーボールという種目についての理解を深めた。 ・パラリンピックについての理解を深めた。 ・体（手や足）の使い方を工夫して、ソフトバレーボールを扱うことができた。

7実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> • ゲームでラリーが続くように、ワンバウンドしてからでもプレーを続けても良いというルールにした。
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> • ボールは、ビーチバレーボールの方がラリーが続く可能性がある。 • 前方への移動が特に難しいので、移動する練習が必要である。 • ラリーが続かないと意欲が低下するので、ルールの工夫が必要である。 • ネットの高さを1 mにするための固定する道具が必要である。
9来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> • バレーボールの単元と合わせた時期（ジャージで活動する）を考えている。